

コラボレーションセンター活動レポート

平成25年度

『ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー』を開催しました！

中国経済連合会，日刊工業新聞社は，平成25年9月9日(月)～10日(火)，県立広島大学 サテライトキャンパスひろしまにおいて、『平成25年度 ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー』を開催しました。

本セミナーは昨年に続いて2回目の開催になります。昨年と同様に，異なる大学の学生同士でグループを編成し，定められたテーマに基づいてグループワーキングを行うことにより新しいビジネスアイデアを創出し，それをビジネスプランに仕上げることに挑戦するカリキュラムとし，10の大学(※)から合計38名の学生さんにご参加いただきました。



(※)広島大学，県立広島大学，安田女子大学，近畿大学工学部，広島経済大学，比治山大学，広島修道大学，広島国際学院大学，広島工業大学，岡山大学(ベンチャー研究会)

◆オリエンテーション&基調講演(9日 9:50～11:15)

最初に，講師陣を代表して広島大学の三枝先生から「日本活性化の切り札～新産業創出～」と題して，日本には多くの課題が山積しており，日本再生が急務であるが，その方策の一つとして新産業創出が大きな可能性を持っているというお話をさせていただきました。また，今回のセミナーを通じて，考え抜く力の養成，各大学の相互交流，CVG に向けたアイデア・プラン創出などを期待している，と参加者への動機付けも行っていました。

次に，(株)流通プランニング研究所 代表取締役の川上正人氏から，「道は，いまつくる」と題して基調講演を行っていただきました。

ビジネスプランを作る価値は，自分の考えをまとめるのに役立つこと，自分が困った時に損得ではない協力者(=人脈)が増えることなどにあるということを通じた体験を通して話していただき，学生の皆さんの参加意欲を更に高めていただきました。



◆レクチャー&グループワーキング(9日 11:20~17:30, 10日 9:30~12:00)

ビジネスプランを考えるグループワーキングの前に、県立広島大学の粟島先生からビジネスプランの作り方についてレクチャーしていただきました。レクチャーは、BS法・KJ法などアイデア創出のやり方、マーケット分析、ビジネス概念図の作成、数値計画の作成まで、ステップを追ってご説明をいただくとともに、プレゼン資料の作成のポイントやプレゼン方法の留意点などもご指導をいただきました。

グループワーキングは、事前に参加者の希望によって選択してもらったテーマ毎に7班に分かれ、各班に1名ずつご指導いただく先生方に付いていただく形で行いました。今回は、ITをテーマとした班が1つであるのに対して、地域活性化をテーマとした班が6つということになり、地域活性化に関心のある皆さんが多かったようです。

9日のグループワーキングは、前半がビジネスアイデア創出、後半がビジネスプラン作成、前半と後半の間に各班にビジネスアイデアのポイントを発表してもらう中間プレゼンテーションをはさむ、という流れで進めていただきました。10日午前のグループワーキングは、午後のプレゼンテーションに向けて、前日の検討の成果をパワーポイントシートの形にまとめてもらいました。各班とも異なる大学の学生同士で編成した即席のチームでしたが、直ぐに打ち解けて熱気溢れるディスカッションの中にも和やかな交流もあり、良い雰囲気グループワーキングを進めていただきました。



◆プレゼンテーション&ビジネスプラン審査&講評・総括(10日 13:00~16:30)

10日午後は、各班が作成したビジネスプランについて、それぞれ10分程度でプレゼンテーションを行っていただき、質疑応答・意見交換を行いました。ビジネスプランのテーマとしてIT関係を選択した班からは、ITを使った物々交換システムが提案されました。地域活性化をテーマとした6つの班からは、観光地や中心市街地の活性化、さらにはそれらと高齢化社会への対応を組み合わせたもの、学生ならではの発想による新商品の開発に関するものなどフレッシュで多彩なビジネスプランが提案されました。

これらのプレゼンテーションに対して、ご指導いただいた先生方と外部審査員としてひろしま産業振興機構様から派遣していただいたオフィスヒューミック代表の綿貫久様とで、厳正なる審査を行っていただきました。その結果、「ユニークな宮島観光」を提案した班が最優秀賞に選ばれ、記念品が授与されました。また、審査時間を利用して、県外からご参加いただいた「岡山大学ベンチャー研究会」の学生さんから、同研究会の概要・活動状況について紹介していただきました。



◆まとめ

今回は、昨年に続き2回目の開催ということで、基調講演の実施、プログラムの2日間への拡充、外部審査員の導入、という3つの新たな試みを行いました。セミナー終了後に実施したアンケートの集計結果を見ると、いずれも多くのお客様から良い評価をいただき、また「とても為になるセミナーだった」、「やる気のある他大学の学生と交流ができて、刺激になった」、「またこのような機会があれば参加したい」など肯定的な感想を多くいただいたことから、学生同士の交流により大学間ネットワーク構築のきっかけ作りをするという当初の目標の一つは達成できたのではないかと思います。もう一つの目標であったビジネスプラン検討の出口としてキャンパスベンチャーグランプリ中国への応募を目指すという点については、未だ結果が判明していませんが、審査いただいた先生方から十分応募に値するレベルのビジネスプランがあったという評価をいただいたので、こちらも概ね目標は達成できたものと考えています。

コラボレーションセンターとしましては、アンケートの集計結果で明らかになった、細かな更に改善が必要な点も踏まえながら、来年度以降もより充実した内容のセミナーとなるよう改善を行い、継続して本セミナーを開催していきたいと考えています。

【レポート作成者】中国地域産学官コラボレーションセンター(中国経済連合会) 小泉

(連絡先) TEL 082-242-4511 / FAX 082-245-8305 / Email collabo0@ms9.megaegg.ne.jp